

2021年2月24日

株式会社三菱UFJ銀行

第2回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン（環境大臣賞）
「間接金融部門（銀賞）」の受賞について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ}三毛 ^{かねつぐ}兼承、以下 当行）は、本日開催された環境省主催の「第2回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」（環境大臣賞）表彰において、「間接金融部門（銀賞）」を受賞いたしました。

パリ協定では、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して2℃未満に抑制することを定めております。気候変動問題を解決するために、脱炭素社会、持続可能な社会の実現に向けた動きが世界的に加速しており、特に金融業界においては、気候関連リスク等のESG要素を考慮した投融資がスタンダードになりつつあります。

当行が受賞した「間接金融部門」は、ESG要素に考慮した評価・審査、それらに基づく融資や支援等を積極的に行っている機関・団体の取組を表彰するものです。当行は、「MUFG 環境・社会ポリシーフレームワークについて、相対的なカバレッジの広さや、必要に応じて見直しが行われている点」「世界各地に配置したサステナブルアンバサダーとの連携窓口としてサステナブルビジネス推進を統括する等、グローバルに対する体系的な取り組みが国内間接金融機関随一である点」が評価されました。

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げております。お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、引き続き環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上